

議案番号	議案名	概要	反対議員
議案第126号	財産の購入について	大型水槽付消防ポンプ自動車1台の購入 6372万円	長谷川正
	《反対討論 市民の声を大切に作る会 長谷川 正議員》議案第120号及び第121号の反対理由に加え、購入する消防自動車が4輪駆動ではなく、2輪駆動であることから反対する。		
認定第1号	平成27年度津市一般会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、川口和雄
	《反対討論 市民の声を大切に作る会 長谷川 正議員》歳入については、予算額が少なすぎるものがある一方で、努力目標で予算額を計上しているものがある。歳出については、需用費や役務費において、非常に余裕のある予算を組んでおり、流用の温床となっている。また、当初予算を調製する際に、いわゆる「科目設定」をするか、しないかの基準や、する場合の最小限の額をいくにするかの明確な基準もないなど、予算の整合性を欠いていることから反対する。		
	《反対討論 日本共産党津市議団 豊田 光治議員》今、市民の暮らしは非常に厳しくなっており、収入格差が広がり、貧困と言われる世帯が拡大している。そんな時だからこそ、市民の暮らしに寄り添う優しい市政が求められるが、そのような取り組みが行われたかという点では、評価できない。資材、人件費の高騰を理由に、当初の予定を超える多額の予算を投じる、新産業スポーツセンターの工事が進められ、平成27年度だけでも19億円余りが執行されている。総務費は対前年度比で20.9%の伸びであるのに対し、暮らしに寄り添う民生費の伸びはわずか2.7%にとどまっている。予算の配分は大型公共事業優先になっており、市民が豊かさを実感できない市政になっているのではないかと。暮らしの厳しさを反映して、税をはじめ公共料金の滞納も深刻になっている。暮らしの状況に寄り添う親身な滞納相談が求められているが、通知を送っても連絡がない市民を「悪質滞納者」とみなして、三重県地方税管理回収機構へ回すという対応も依然行われている。暮らしに寄り添う市民サービスを向上させるには、職員配置を手厚くすることが求められるが、慢性的な人員不足によって、時間外手当は一般会計のみで7億円を超えている。また、衛生費で、補正予算も組まず、議会にも市民にも説明せずに環境パトロールの事業が行われたことは、執行機関と議会の在り方として、問題のあるやり方であったことを改めて指摘して反対する。		
認定第2号	平成27年度津市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正
	《反対討論 市民の声を大切に作る会 長谷川 正議員》歳入については、事業収入は増加したが、入場者数が減少しており、努力が足りない。歳出については、予算額と決算額がかけ離れているものがたくさんあるほか、支出の際に事業を誤り、そのまま決算するなど、他の会計では想像もつかないようなずさんな経理も見受けられ、経営管理がまるでなっていないと考えることから反対する。		
	《反対討論 日本共産党津市議団 豊田 光治議員》公営ギャンブルは廃止すべきであるとする。日本財団に対する交付金がいや応なく課せられ、競争性が担保されない随意契約で、船舶やモーターの購入が行われていることから反対する。		
認定第3号	平成27年度津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団 豊田 光治議員》高すぎる保険料が市民の暮らしを圧迫している。医療費の高騰や給付費の伸びは、加入者だけの責任ではない。早期発見・早期治療の立場で、検診などの保健予防活動に力を注ぎ、医療費抑制に努めることが求められる。一般会計からの繰り入れは、15億9100万円が予算化されたが、結果8億7700万円にとどまっている。残りの約7億円は、国保基金として積み立てるべきではなかったのか。国保は社会保障だという立場に立って、安定運営を目指していく必要がある上、平成30年度からの広域化に向けて一層の努力が求められる。市民の暮らしと健康を守る運営を求めて反対する。		
認定第4号	平成27年度津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団 豊田 光治議員》高すぎる保険料、利用料が高齢者の暮らしを圧迫している。保険料の対応では、第1段階の方の滞納が多数を占め、お金のない方は納められないことが如実に表れている。保険料、利用料の軽減制度を設けることを繰り返し求めてきたが、そうした措置が講じられていないことから反対する。		
認定第5号	平成27年度津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団 豊田 光治議員》この制度は、75歳で全ての医療制度から排除し、差別する制度である。高齢者の医療差別をなくすため、旧来の老人保健制度に戻すべきで、高齢者が安心して医療にかかれるようにすべきである。この制度は廃止すべきという観点から反対する。		